

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期つがる市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県つがる市

3 地域再生計画の区域

青森県つがる市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1985年の46,070人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年には28,806人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が15,262人となる見込みである。【人口】

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1985年の9,787人をピークに減少し、2020年には2,903人となる一方、老年人口（65歳以上）は1985年の6,029人から2020年には12,013人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1985年の30,254人をピークに減少傾向にあり、2020年には16,018人となっている。【年齢3区分別の人口】

自然動態をみると、出生数は1994年の393人をピークに減少し、2023年には108人となっている。その一方で、死亡数は2023年には615人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は507人（自然減）となっている。【総人口の自然動態】

社会動態をみると、1994年には転入者（1,344人）が転出者（1,627人）を下回る社会減（283人）であった。このころから現在に至るまで社会減は一貫して続いており、毎年約220人の社会減が続いている。本市の基幹産業である農業についても集約化及び機械化が進んだことで労働需要が減少し、生産人口の転出に歯止めがかからず、2023年には209人の社会減となっている。このように、人口の減少は出

生数の減少（自然減）や、高止まりしている転出超過（社会減）等が原因と考えられる。【総人口の社会動態】

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。【『地域の現状』の原因となる、地域の課題】

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。【『地域の課題』で分析した課題を解決するための取組】

- ・基本目標 1 地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる
- ・基本目標 2 つがる市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	20～35歳の就業率	75.2%	75.3%	基本目標 1
イ	関係人口	126人	127人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.03	1.1	基本目標 3
エ	40-50 歳代男性の死亡 率（人口 10 万対）	374	340	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

つがる市まち・ひと・しごと創生事業

ア 地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる事業

イ つがる市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

② 事業の内容

ア 地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる事業

力強い農業の推進、つがるブランド農産物の促進、起業・創業の促進、本市の地域資源を活かした企業誘致活動の推進、次世代産業の推進等、つがるブランド農産物、広大な津軽平野等の地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる事業

【具体的な事業】

・つがるブランドPR事業

・スマート農業推進事業 等

イ つがる市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業

観光振興の推進、関係人口の創出、移住・定着の促進、企業とのつながりの創出等、つがる市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業。

【具体的な事業】

・商店街活性化事業

・若者の移住・定住促進事業 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

出会いと結婚への支援の充実・強化、妊娠・出産・子育て支援の充実、子育て家庭の経済的負担の軽減、学校教育の充実等、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業。

【具体的な事業】

- ・ ICT を活用した子育て支援事業
- ・ グローバル人材育成事業 等

エ 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

健康づくりの推進、医療・福祉の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、文化資源の保存・活用、中心市街地の賑わい創出、地域防災力の強化、地域コミュニティづくりの活性化等、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業。

【具体的な事業】

- ・ スポーツ交流促進事業
- ・ 地域コミュニティ活動促進事業 等

※なお、詳細は第3期つがる市地域活力創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

6,500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度3月に、市民をはじめ、産官学金労等といった、地域の様々な分野で活躍されている方々の参画による「つがる市総合戦略推進会議」を設置し、地域活力創生本部への意見や助言をいただくとともに、施策や事業の効果を検証する。検証結果は速やかにつがる市公式WEBサイトで公開する。

⑥ 事業実施期間

2026年3月31日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで